

交換留学帰国報告書

記入月日: 令和2年2月16日

氏名: 杉山 栞里

留学時所属&学年: 国際地域学部 3年
グローバルアプローチ

留学先大学	ハンブルク大学
留学先国	ドイツ
留学期間	1学期間
留学開始-終了日	2019年10月1日 - 2020年2月9日

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

国際地域学部グローバルアプローチの卒業要件で交換留学が必須だったから。
また、英語やドイツ語の語学力を向上させるため。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

入学当初からグローバルアプローチを選択すると決めていたので、TOEFLの勉強をした。本格的に準備を始めたのは留学先がドイツに決まった3月中旬からで、あらためてドイツ語の勉強を始めた。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

ヨーロッパに留学したかったことと、第二外国語でドイツ語を選択していてもっとドイツ語を話せるようになりたいと思ったことから、ドイツを希望した。ハンブルク大学の情報は、以前留学していた先輩方の月例報告書を読んだり、大学のホームページを見たりして集めた。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

大学で行うTOEFLを何回か受けた。対策はあまりせず、普段の英語の授業や英語の課題に真剣に取り組んだ。TOEFL直前に問題集をといた。主にリーディングの大問を、1問ずつ時間を計って解き、その都度答え合わせをして分からない単語の意味を調べてから次の大問を解く、という方法で勉強した。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

国際課の方が準備をサポートしてくださったのがとても助かった。また、書類など基本的にドイツ語なので、ドイツ語教員の磯崎先生にも質問させていただいた。同じ学部から同時期にドイツに行く学生やすでにドイツで留学中の学生の存在も心強かった。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

その学期の授業リストやシラバスが留学直前まで手に入らず、履修登録は現地で行うため、単位認定の科目を考えるのに苦労した。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

様々な国籍や年齢の人が通う。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

大学内では、申請すれば Wi-Fi が使える。学生食堂やカフェ、有料でコピー機が使える図書館がある。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

なし

B. 授業や勉強

1. 留学先で履修した科目

1	●科目名(担当教員名): English - "Discussing Psychology, Sociology & Political Science", Level B2 (Benjamin Feddersen) ●時間数/週(単位数): 90分/週(3,0ECTS)
---	---

	<p>●クラスの学生数： 約 30 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等)： 毎週違うテーマに沿った2～3個の英語記事を次の授業までに読み、それぞれ5つほどの Discussion Questions の答えを考えてくる。テーマは初回授業時に全員で決める。(環境問題、人権問題、政治問題など)。毎週 2～3 人の生徒がテーマに沿った記事を選び、自分で Discussion Questions を用意し、クラス専用の Googleドライブに共有する。さらに 2～3 人の生徒は記事から重要だと思う単語を 10 個ほど選び、英語・ドイツ語の意味を調べ、共有する。クラス全員が、1 人 1 回は記事を選ぶのと単語を調べる役割の両方をする必要があるのである。授業では、2～3 人で組んで Discussion Questions をもとに意見を交換し合い、全体でディスカッションをする。期末に記述テストがある。</p>
2	<p>●科目名(担当教員名):English - "Great Works of Art Throughout History", Level B2 (Matt Rodda)</p> <p>●時間数/週(単位数):90 分/週(3,0ECTS)</p> <p>●クラスの学生数： 約 15 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等)： 主にヨーロッパの重要な絵画や彫刻など、美術作品の画像を見ながら講師の説明を聞く。絵画の意味や、どういう風に見えるかなどを近くの人と話し合う。予習や課題は特にない。期末に 5～10 分のプレゼンがある。テーマは自由で、自分の好きな美術作品や作家を紹介する。</p>
3	<p>●科目名(担当教員名):English - "Anything Goes: English Song Texts in Opera & Musicals", Level B2 (Carl Kanowsky)</p> <p>●時間数/週(単位数):90 分/週(3,0ECTS)</p> <p>●クラスの学生数： 約 10 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等)： ミュージカルやオペラなどの歌詞から、当時の文化や語彙、文法などを学ぶ。先生が指名し、生徒が意見を出し合う。期末テストでは、授業で学んだ語句やことわざなどを使って自分で文を作ったり、単語の意味を選択問題で解いたりする。</p>
4	<p>●科目名(担当教員名):English - "Grammar", Level B2 (David Virta)</p> <p>●時間数/週(単位数):90 分/週(3,0ECTS)</p> <p>●クラスの学生数： 約 10 名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等)： B2 レベルの英語の文法を学ぶ。主に時制や仮定法を中心に学んだ。授業の連絡は WhatsApp(チャットアプリ)を通して行われた。先生と会話したり、文法問題を解いたりする。毎週、minutes という、授業内容を word の A4 一枚程度にまとめたものを作る minute taker という役割を、1 人 1 回はやる必要がある。期末に記述テストがある。</p>

5	<ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名):Deutsch als Fremdsprache, Niveau A2.2 (Iris Martin) ●時間数/週(単位数):120分/週(3,0ECTS) ●クラスの学生数: 約 20 名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <p>ドイツ語で、テキストに沿って文法などを学ぶ。テキストは指定されたものを自分で購入する。テキストの問題を解いたり、ペアで会話の練習をしたりする。毎週の課題として、テキスト付属の問題集を復習として解く。予習もしておくことと授業についていくのが楽になる。期末にリスニングと記述のテストがある。</p>
---	---

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

1回でも休んだら休み癖がつくと思ったので、全ての授業に休まず出席した。毎回、「全体ディスカッションで発言する」「ここが分からなかったので授業後に先生に聞く」など、小さな目標を立てて授業に参加した。課題はすべて期限内に出すようにした。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

レジュメをコピーして持参しなければならない時は、AAIの図書館でコピー機が使える。(有料)

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

ほとんどがディスカッションメインの授業だった。大人数の授業では2~3人のグループで話し合い、後に全体のディスカッションをした。手を挙げて教員が指名した生徒が発言するというスタイルだが、意見があるときは手を挙げずにそのまま発言しているのが日本とは違うと思った。また、単位を取りに来ているというよりは知識を身につけに来ているという感じで、もちろん寝ている生徒はおらず皆授業に積極的だった。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

私が受けた授業の教員は皆とても良い人だった。中でもGrammarの授業のDavid先生はとてもフレンドリーで面白く、日本のプロ野球に興味があるようで毎回私に野球の話を持ってくださり楽しかった。授業は“Discussing Psychology, Sociology & Political Science”がおすすめで、長文の英語の記事を読むのに慣れることができ、新しい英単語も多く学ぶことができる。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(1)人部屋
寮・アパート名	Herrman-Ehlers-Haus
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※Wi-Fi ルーターは自分で用意
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド(マットレスのみ。布団と枕は自分で用意) <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器(暖房のみ) <input type="checkbox"/> その他 (洗面台)
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) 階ごとにシャワー、トイレ、キッチン 地下に洗濯機、乾燥機、アイロン ※フィットネスルームや音楽室(ピアノ付き)もあるが 1 回も利用したことがないので詳細不明

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

大学近くには何でもある。寮付近には木しかない。2, 3 駅離れたところに大型スーパーやショッピングモールがあり、何でもそろふ。寮から大学までは地下鉄で 30 分。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地で銀行(Commerzbank)を開設。現金はキャッシュパスポートや日本の銀行の VISA カードで、現地の ATM から引き出し。買い物は基本的にクレジットカード(キャッシュパスポート)。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

渡航してすぐ Wi-Fi ルーターと、布団 & 枕を手に入れる必要がある。日用品はほぼすべて現地で手に入るの、消耗品は現地で買うのがおすすめ。
現地で安い電気ケトルを買ったのだが、とても便利だった。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨 = ユーロ)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	約 150,000 円	食費	約 30,000 円
保険代	海外旅行保険: 約 70,000 円 現地の健康保険: 約 55,000 円	家賃	約 265,000 円 (355€×6ヵ月)
予防接種・ビザ代	約 14,000 円	教科書代	約 2,000 円
交際費(外食等)	約 10,000 円	その他	学費:約 35,000 円 その他生活費: 約 30,000 円

合計: 約 660,000 円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

拍手の代わりに机をコンコンとたたく。手を挙げるときは人差し指を立てる。駅に改札が無いが無賃乗車はしてはいけない(見つかると高い罰金)。冬はスカートをはいている人はあまりいない。マスクをつける人はほとんどいない。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

現地で健康保険に加入する。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

していない

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などがありますか。

風邪薬、胃薬、正露丸、頭痛薬を持参した。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

私は、単位を取って無事に帰ってくることを一番の目標としていたので、そこに関しては達成できた。留学前は、履修登録の方法などもよくわからず、本当に単位が取れるのか心配だったが、結果的に私が取った授業の ECTS 15 単位全て取得することができたため、大きな達成感を感じる。ドイツ語の学習に関しては、留学前は正直そこまでの期待はしておらず、英語中心に頑張ろうと決めていたので、ドイツ語の単位が取れたことは嬉しかった。学校まで電車に乗る間も常に周りがドイツ語でしゃべっていたり、買い物をする際もドイツ語だったり、日常生活の中でドイツ語を聞いていたので、特にリスニング力は向上したと思う。教科書なしで簡単な会話ができるようになった。

また、留学してから手続きが多く、全てドイツ語なので、チューターが手伝ってくれたにも関わらず本当に苦労し、留学前ほどではないがとても不安だった。それでも、すべて無事に終わらせることができ、「どれだけ不安でもなんとかなる」ということを実感した。さらに、帰国する際には、全ての解約手続きなどを自分一人で終わらせることができ、成長を感じた。最初ほど不安を感じることもなく、「とりあえずやってみよう」という考え方に変わっていることに気づいた。といっても、無計画で行動するのではなく、常に頭の中でやるべきことを考え、何度もシミュレーションしてから実行に移すことができた。

留学中、手帳などの紙に自分の考えや予定、計画などを、思いついたときにすぐ書くようにした。さらに、月例報告書や提出物など、自分の中で優先順位をつけて期限内に必ず出すようにした。これらによって、自分の計画性や責任感が大きく成長したと思う。勉強面では、課題などは必ず出し、授業を休まないようにした。また、何度か旅行ができたのも良い経験になったと思う。ドイツ内のハンブルク以外の場所にも行くことができ、よりドイツ文化に触れることができた。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

あまりドイツ人の学生と交流ができなかった。私はタンデムという制度を利用しなかったため、ドイツ人と関わる機会があまりなかった。日本語授業のサポーターも1つしかやっていなかったため、2つ以上やると良かったと思う。また、食事をあまりとらず不規則な生活を送っており、2回ほど体調を崩してしまったのは、自分の健康意識が足りなかったと思う。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

英語とドイツ語の学習を継続したい。ドイツでの留学経験を活かし、福井大学でも留学生の支援などできる機会があれば積極的に行きたい。ドイツで何度か1人旅をした経験から、鉄道や旅行関係に興味を持ったので、将来の選択肢の1つとして考えたい。留学経験や英語を活かせる仕事に就きたいと思う。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

私は留学する前が一番不安で、正直留学に行きたくないと思う時期がありました。しかし、今は留学して良かったと思っています。楽しかったかと聞かれると、自分は辛いことのほうが多かったように思いますが、そういう苦しい経験が後に役に立つと思います。何か一つでも良いから自分の中で目標を決めて、それを忘れなければ、必ず成長できると思います。ハンブルク大学は、ドイツ語だけでなく英語を伸ばすことも出来ます。現地での手続きが多く大変ですが、スキルアップにつながります。

また、個人的にドイツは日本人にとってかなり住みやすい国だと思います。スーパーや薬局には日本と同じように何でもそろっているし、電車やバスもそこまで複雑ではないので遠出をするのも簡単です。特にハンブルクは大きな都市なので、中央駅付近にはなんでもあります。生活面では特に心配する必要はありません。しかし、食事だけはしっかりとることをおすすめします。私はお金を浮かせるためにほとんど食べていなかったのですが、心身ともに不健康になるので絶対にやめたほうが良いです。また、旅行に行くことは良い経験にもなるし、リフレッシュにもなるのでおすすめです。

私の留学はあまり良い参考にはならないかもしれませんが、これからハンブルク大学に留学する方々が有意義な留学生活を送れることを願っています。